

海外における環境配慮契約事例

海外の環境に配慮した契約について、文献及びウェブサイト調査を行い、収集した4つの自治体における事例を報告する。

ハーグ市（オランダ）の電力供給契約

以下の「a.技術仕様」を満たしている入札者のうち、「b.総合評価点の計算方法」による総合評価点の最も高い者が落札

※2つのロットに分けて入札を実施。ロット1は52.3GWh、ロット2は4.7GWh

a.技術仕様

- 契約終了時に供給される電力の100%は、ロット1にあつてはオランダ国内、ロット2にあつてはハーグ市内の発電源証明によって承認された新規再エネ発電施設由来でなければならない。
- 契約開始時から、新しい供給源に由来しない全ての電力は、オランダの既存再エネ発電施設からの発電源証明※を伴わなければならない。

※欧州では「再生可能エネルギー促進指令（2009/28/EC）」の中で、発電事業者に対して発電設備の内容を記載した証書” Guarantee of Origin”(GO又はGoO、発電源証明)の発行を義務付けている。

b.総合評価点の計算方法

総合評価点=品質+価格（最大2,000点）

- 品質：最大1,000点（50%）
 - ・ 新規再エネ発電施設から100%電力供給を達成する目標年を含むロードマップ（最大500点）
 - ・ 新電源の立地。ハーグ市に近いほど良い。（最大100点）
100点：ハーグ市の境界内 75点：都市の隣の沿岸地域 50点：南ホラント州内 0点：オランダ内（最低要件）
 - ・ 行政手続き等（最大400点）
- 価格：最大1,000点（50%）
1,000 ×（最低入札価格／入札価格）

※ロット2については、品質：1,400点（70%）、価格：600点（30%）で計算

ライジングerland（オランダ）の電力供給契約

以下の「a.技術仕様」を満たしている入札者のうち、「b.入札価格の調整」が行われた上で、最も経済的に有利な入札（**MEAT: Most economically advantageous tender**）をした者が落札

a.技術仕様

- 供給される再エネ電力は、風力、太陽光及び／又はバイオマスによってオランダ国内で生成されなければならない。
※バイオマス発電は、下水汚泥処理又はごみ集積場での捕集メタン由来のみが認められる。
- 自ら生成する持続可能な電力のほか、第三者から発電源証明を購入することもできる。
- 供給者は、発電源証明を顧客に毎年移転することを保証
- 顧客の要請に応じて、供給者は量、発電源証明の種類（生産施設の名称と場所を含む）及び譲渡した顧客名を記載した報告書と（コミュニケーション目的の）証書を作成する。

b.入札価格の調整

地域の持続可能なエネルギーへの移行を支援する行動の提案を評価。再エネ電力**100%**の場合、入札価格に対して**32,000**ユーロが調整（入札価格から減額）

ATCトリノ（ピエモンテ中央地方庁）（イタリア）の建築技術の契約

以下の「a.技術仕様」を満たしている入札者のうち、「b.総合評価点の計算方法」による総合評価点の最も高い者が落札

※中小企業の参加を容易にするため、3つのロットに分けて入札

ロット1：建物の外皮によるエネルギー損失を減らす統合外観ソリューション

ロット2：エネルギー損失を減らすための屋根ソリューション

ロット3：窓を通じた夏期の太陽光減少と冬期の太陽光増加

a.技術仕様

- 革新的な特徴がなければならない。（「革新的」＝新規又は既に存在するが実質的に改善されたもの）相当の市場シェア（20%以下）に達していない製品であって、契約当局がローンチカスタマー又はアーリーアダプターとして機能できる可能性のある製品も革新的と考えることができる。
- 環境および健康に有害な物質を含む製品も受け入れられず、製品はECHA（the European Chemicals Agency, 欧州化学物質庁）の分類・ラベル表示に従わなければならない。

b.総合評価点の計算方法

基準	ロット	ウェイト
A.エネルギー効率	1,2	30点
	3	40点
B.サステナビリティ	1,2,3	10点
C.据付け、メンテナンスなど	1,2	30点
	3	20点
D.経済的基準	1,2,3	30点

(PROCURA+ウェブサイト<<http://www.procuraplus.org/>>の情報を元に環境省作成)

ロンドン市交通局（イギリス）の地下鉄照明調達契約

以下の「a.技術仕様」を満たしている入札者に対し、「b.評価方法」に基づきライフサイクルコスト（LCC）及び実施試験による評価を行って落札者を決定

a.技術仕様

- 物理的構造に関する要件
 - ・故障時、寿命が満了又は不要となったとき、容易に交換できるようにモジュール式であること。
 - ・メンテナンスや定期的なテストによって劣化することなく、ライフサイクルを通じてIP保護等級を維持するよう設計されていること。
- 信頼性に関する要件
 - ・ランプの50,000時間における破損値は10%以下でなければならない。
 - ・ランプは、50°Cの最高動作温度および平均動作電流にさらされたときの成功確率が50%であることを90%のレベルの信頼性で実証された最低50,000時間のL70性能を提供しなければならない。
 - ・ランプは、50°Cの最高動作温度および平均動作電流にさらされたときの成功確率が90%であることを90%のレベルの信頼性で実証された最低6,000時間のL90性能を提供しなければならない。

b.評価方法

- LCC分析
 - ・電力原価率：0.10ポンド（約0.12ユーロ）／kWh
 - ・CO2：3ポンド（約3.52ユーロ）／t-CO2（2014年基準）で、2%ずつ増加
- ※システムへの電力供給に使用される電力のCO2排出量：490g／kWh

● 実地試験

- ・以下の項目で実地試験を行い評価
- 堅牢性及び耐久性、コンポーネントへのアクセスの容易さ、解体しやすさ、再組立てのしやすさ、再組立て後の完全性、部品交換の容易さ、清掃しやすさ、設置しやすさ、取り外しやすさ、配線への対応能力、スイッチの切り替えやすさ

（PROCURA+ウェブサイト<<http://www.procuraplus.org/>>の情報を元に環境省作成）